

その他の金属製品製造業における起因物なしを起因物とする死傷災害発生事例（2017年）

2017 年 発生 月	時間	死傷災害発生事例	年 齢	労 働 者 規 模
1	18～ 19	工場内において、自動車用の金属部品をプレス機械を使用して加工する作業をしていた際、日頃より他の社員より早いペースで作業していたことが積み重なり、徐々に右手の痛みが酷くなった。	43	30 ～ 49
2	16～17	コンプレッサー組立ラインにて、コンベア上からタンクを持ち上げ、作業台に移す際に体をひねってしまい、腰を痛めてしまった。前年に階段から滑り落ちた際に腰を痛めて以来、気を付けて作業していたが、今回痛めてしまった。	23	300 ～ 499
3	14～15	社内工場にて、1500×1000×1000程度の架台に部品を（5～7kg）取り付けしてボルトナットを固定する作業中、かがんだり、立ち上がったときに腰を痛めた。 （架台を腰で持ち上げる作業を時々していた）	46	10 ～ 29
3	21～22	工場内のNC機にて、ベアリング保持器部品加工中、製品（完成品）を洗浄した後、箱に詰めて台車へ積み上げる際（荷物寸法50×60×45cm、重量20kg、製品150個入り）、台車を洗浄器にはりつけて置かず、腕の力だけで作業をしたため、腰をひねった。	32	30 ～ 49
3	16～17	工場内の作業台に取り付けてあるバイスに挟んだ1.6mm鉄板（縦11cm×横16cm）に面をつけるため、ヤスリで擦っているときに腰を痛めた。	41	10 ～ 29
4	14～ 15	工場内作業所で、鋼材H200×100長さ90cm、重量19kgを手で持って運搬中、手を滑らせH鋼材の断面の角部が安全靴の左足甲の部分にあたり骨折した。	25	10 ～ 29
4	13～	当社倉庫内にて、現場で使うためのジャッキ（重さ約15kg、縦約30cm×横約	48	1～

	14	20cm×幅約26cm) をトラックの荷台に積もうとした際、右肩をひねって痛めた。		9
4	14～ 15	第1工場内にて30kg～40kg程のパネルを2人で持ち上げ移動させる際、腰に激しい痛みを感じた。	23	50 ～ 99
4	10～ 11	製品に上がってグラインダー作業等が終わったので、およそ1mの高さから床へ前から飛び下りたとき、前方に置いた物が気になり右足つま先を曲げた状態で着地し、体重がかかり骨折し、折れたと同時に骨がずれて脱臼した。	48	50 ～ 99
5	11～ 12	工場内にて椅子に座って溶接作業をしていた時に、一度立ち上がり再度座ろうとした際に、椅子が元にあった位置からずれていたため尻もちをつき、腰を痛めた。	72	10 ～ 29
5	17～ 18	当社工場内において、当日の仕事が終わったのでダクトの材料工具等を片付けていたとき、二階に荷物を持って上がり、片付けを済ませ階段を下りた。階段は鉄骨製で、セメント製の台（高さ約23cm、幅約1m）の上に取り付けられていて、一番下のセメント製の台から下へ右足から下りた時に右足首を捻って受傷した。翌日も痛みが治まらないので休んで家で様子を見たが、だんだん腫れて来た。	65	1～ 9
6	8～9	工場内で製品の引っ掛け作業を始める前に、トイレに行こうと歩いていたら、濡れていたコンクリートの床で足を滑らせ、転んで負傷した。	41	10 ～ 29
7	15～16	当社工場内ドラム缶置場において、ドラム缶をフォークリフトへ積み込む作業中、輸送用パレットにドラム缶を二段に重ねようと持ち上げた時に腰を捻り、その際、負傷した。	55	10 ～ 29
7	13～14	会社工場内でワイヤーロープ（10kg～50kg）を加工し製品を両手で持ち運んだりする作業を行っているため、徐々に腰に負担がかかり腰を痛めてしまった。当日はいつもより少し重量のある製品の加工・運搬をしており、作業中に腰を捻ってしまい強い痛みを感じた。痛みで作業に支障が出てきた。	23	10 ～ 29
7	9～10	生産日報の書類を回収中に立ちくらみによって転倒し土間に右ひざをぶつけて骨折した。	54	50 ～

				99
7	11～12	当社工場内において、ショベルカーに塗料付着防止のシートを掛ける作業をしていた。タイヤ部分（高さ約1m）にのぼってシートを掛け終わり、そこから飛び降りたとき、着地のバランスが悪く、左膝を負傷した。当日は我慢できる痛みだったのでそのまま仕事を続けたが、翌日になって膝が腫れてきた。	20	50～99
7	14～15	プラズマ切断機の掃除が終わり、台の上に立ったとき、立ちくらみを起こして転び、右足を挫いた（高さ1m前後）。	48	10～29
9	15～16	被災者は作業応援に行き、3Fバースで通路の路面塗装作業を屈んだ体勢で行っていた、作業終了後、立ち上がった際に足が攣ったような症状があり、そのまま後方へ座り込んだ。その際、左足股関節が脱臼したような感覚になり、身動きが取れなくなった。	30	50～99
10	9～10	自社工場内にて、鉄板切断加工作業中、手が滑り、切断板を左足親指の上へ落とし、負傷した。	23	1～9
10	15～16	台風21号の影響により、工場が水没したため、片付けを行っていた。連日片付作業を行い、浸水した機の引き出しを開けることが出来なかったため、机の下に潜り込み、裏側の隙間から中身を取り出そうとしゃがみ込んだところ、無理な体勢だったため、腰に痛みが発生した。	57	100～299
11	9～10	自社製品である水平（鉄製、パイプ状、重さ約8kg）を作業台へ移す作業中に、水平を持った瞬間に腰に激痛を覚えた。	19	50～99
11	17～18	当社工場内で溶接中のカバーを動かそうとした時に、腰に激痛が走り、バランスを崩して、尻をコンクリート床に強打した。	57	10～29
12	11～12	社内食堂の窓ガラス8枚を水切りワイパーを使用して掃除していた。腰の曲げ伸ばし作業を繰り返し行っていた為、第12胸椎を圧迫骨折した。	73	50～99

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to : https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_11.html